

▼ジスバルカプセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】 バルベナジントシル酸塩 Valbenazine Tosilate 【分類】 遅発性ジスキネジア治療剤 [VMAT2 阻害剤]

【単位】 ▼40mg/Cap

【常用量】 40mg/日 [最大 80mg]

CYP2D6 の PM, CYP2D6 および 3A4 阻害剤併用者では最大 40mg/日

【用法】 1 日 1 回

食事の影響を受けるため、増量時はタイミングを固定

【透析患者への投与方法】 設定されていない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 設定されていない (1) PK は腎機能低下の影響を受けない (1)

【特徴】

【主な副作用・毒性】 QT 延長, 傾眠, 鎮静, 錐体外路障害, 発疹, 悪性症候群, 倦怠感, 体重変化, 消化器症状など多数

【安全性に関する情報】

【吸収】 空腹時投与で血中濃度上昇 (1)

【F】 48.6% (1)

【tmax】 0.75hr, 活性代謝物 4hr (1)

【代謝】 バリンエステルの加水分解により活性代謝物へ代謝され, CYP3A4/5 により酸化的代謝を受ける (1) 活性代謝物は CYP2D6 及び CYP3A4/5 により酸化代謝されグルクロン酸抱合を受ける (1) 未変化体は主に CYP3A で代謝 (1) 活性代謝物は主に CYP2D6, CYP3A で代謝 (1) AUC 比として, 未変化体 42%, 活性代謝物 10% (1)

【排泄】 尿中回収率 60%, 未変化体 1.8%, 活性代謝物 1.6% [po, 9 日まで] (1)

P-gp を阻害 (1)

【CL】

【t1/2】

【蛋白結合率】 未変化体 99.9%, 活性代謝物 62.9% (1)

【Vd】

【MW】

【透析性】

【OW 係数】

【相互作用】 P-gp を阻害し, ジゴキシンの Cmax, AUC が上昇 (1) CYP3A4 阻害剤により血中濃度上昇 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20230614

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。